


III 津波最大浸水域 - 釜石市ハザードマップ



釜石市 中妻地区
自主防災組織育成・活性化支援事例報告

釜石市・山形大学

1 地域の特徴

中妻地域は、釜石地域の西隣に位置する市街地で、平坦地は、中央部を国道が通り、住宅地のほか商業地、工場、官公署等が立地し、労働、買い物、食事、通院、諸手続等の目的で市内他地域との人の行き来が多い地域である。

また、三陸縦貫自動車道のICがあり、釜石市の中心部への玄関口として、交通の要所となっている。

一方で、大雨時には各沢々の出水が道路上に溢れ、低地に集中することで、しばしば冠水する地区もある。





中妻地区生活
応援センター

双葉
小学校

県釜石合庁・
IC乗り入れ口

釜石警察署

八雲神社
大天場

釜石中学校

日本製鉄
釜石

国道283

《地域の特色を踏まえた主要な課題》

- ・安全、安心のまちづくり（※犯罪、交通事故、生活環境整備）
- ・見守り、支え合いの充実（※福祉課題（独居、災害弱者、健康不安、居場所）対応）
- ・地域防災力の向上・防災対策

《取組み》

【自助】

- ・各種活動への自主的な参加
（※町内会、地域交流活動、サロン、
公民館事業等）
- ・隣近所への声掛け
- ・防災意識の向上（※避難訓練への参加、避難場所の確認）

【共助】

- ・様々な機会の企画、運営
- ・自主活動グループ、ボランティア組織の結成
- ・見守り、災害弱者への支援

【公助】

- ・広報、啓発活動
- ・自主活動グループ、ボランティア組織の結成支援
- ・相談機会の創出、関係機関との連携
- ・地域課題解決への支援



中妻地区地域会議が組織されており、自治会、商店会、学校など33団体でこれらの課題について協議、対応してきた。

中妻地区地域会議

議長：佐藤力

副議長：永澤光雄・金澤祥記

構成委員：33名

1	千鳥町町内会	10	皆輪町内会	19	住吉町町内会	28	上中島2期復興公営住宅自治会
2	中妻北町内会	11	中妻さざなみ町内会	20	上中島商店会	29	釜石市立双葉小学校（顧問）
3	中妻1丁目東町内会	12	上中島弥生会	21	中妻中央通商店会	30	釜石市立釜石中学校（顧問）
4	中妻町内会	13	上中島4丁目町内会	22	中妻北商店会	31	水野昭利 市議会議員（顧問）
5	八雲地区親交会	14	源太沢親交会	23	双葉小学校 P T A	32	深澤秋子 市議会議員（顧問）
6	八雲睦会	15	源太沢むつみ会	24	中妻南地区防犯会	33	川嶋昭司 市議会議員（顧問）
7	八雲協力会	16	源太沢新生会	25	上中島児童館		
8	八雲双葉会	17	源太沢あゆむ会	26	中妻北地区コミュニティ消防センター		
9	富士見台町内会	18	新町町内会	27	上中島1期復興公営住宅自治会		

地域概要：世帯数、人口（令和5年3月末現在） ●3区分人口（単位：人）
 ≪高齢化率39%≫

世帯数 （単位：世帯）	地域会議内人口 （単位：人）
1,972	3609

0～14歳	15～64歳	65歳以上
288	1974	1409

■中妻地区における目標・スケジュール

○課題と目標（事業計画書より）

- ・令和3年度の岩手県事業を利用して地区ではじめての津波避難訓練を実施し、検証結果の共有が行なわれた。
- ・令和4年3月に岩手県が公表した津波の新被害想定では地区の浸水の想定区域がさらに広がった。
- ・令和3年度末までに、新規の自主防災組織の結成には至っていないが、訓練に参加した町内会では訓練実施や振り返りを通じてその必要性が認識されたためか、自主防災組織の結成を検討し始めた地域が複数生じた。
- ・令和3年度に続いて避難訓練やその後の検証を実施し、自主防災組織の必要性の理解促進、結成をはたらきかける。

○スケジュール

2022年

- 5/27：地区会議での津波避難訓練骨子の検討
- 7/22：センター会議での津波避難訓練の方向性の確認
- 8/5：新しい避難場所候補の現地確認
- 8/26：センター会議での訓練内容の確認・周知依頼
- 9/29：中妻地区津波避難訓練
☞訓練の記録・検証
- 11/25：避難訓練の振り返り・検証結果の共有

2023年

- 3/20：コアメンバーによる振り返りと次年度以降の取り組み協議

令和3年度 参考

令和3年度中妻地区津波避難訓練の実施

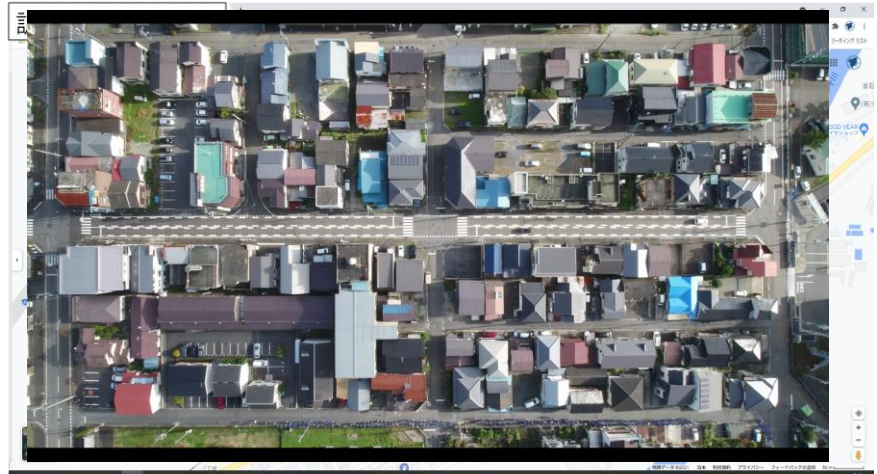
【訓練の実施】

2021年10月14日（木）

14:40～15:25（日本海溝M9.1地震想定）

緊急避難場所：八雲神社（大天場）

- ・参加機関数11+4町内会
- 参加者数：710人



【訓練の記録・検証】

- ・ **30分**で津波到達の想定のところ
13分台で最後の避難者が浸水範囲
をでるところが確認できた。

訓練記録者（地上）

氏名	配置（案）	機材	所属	備考
熊谷 誠	①	カメラ	岩手大	
塚本 清孝	③（仮）	カメラ	防災サポーター	
中村 順哉	④	ビデオカメラ	盛岡消防	
南野 光稀	⑤、⑥	ビデオカメラ	県大OB	
高橋 翔	②	カメラ持参	岩手県庁	
吉田 凌	③（仮）	カメラ持参	岩手県庁	

※配置と機材担当は調整中
 ①釜石中西側道路交差点
 ②協会支部西側交差点
 ③283号線交差点丸松付近
 283方向と八雲神社方向の2方
 向対応必要かも。。。
 ④八雲神社登り口
 ⑤八雲神社付近
 ⑥大天場付近



令和3年度 参考

避難訓練の振り返り・検証結果の共有

- 第6回中妻地区センター会議で各機関からの振り返り報告を行った。また、岩手大学より避難訓練の記録写真・映像からの検証結果を報告した。以下、課題。
 - 防災行政無線が聞こえない
 - (各地区から) 避難場所や避難経路の見直しが必要
 - 避難路上の危険箇所、急勾配箇所などの安全確認や代替路の検討
 - 荒天時を想定した避難場所の確保
 - 高齢者の地震時対応がとられていない
 - 避難経路上の狭隘部での安全、円滑な移動
 - 国道283を横断する避難は時間がかかるので、避難先の検討が必要
- これらの結果を踏まえて、次回以降の会議で今後の訓練の取扱いを協議することが確認された。



大天場グラウンド前ビデオ16.04~
 踏切前8.35~、10.36~

令和3年度 参考

釜石中学校での訓練検証報告への参加

- 避難訓練に参加した釜石中学校第2学年の総合の学習の時間を利用して訓練内容の振り返り、検証に取り組んだ。

以下、主な検証項目

- ・ 校内：地震時の校内の危険箇所
避難経路（幅や距離）
校舎外までの移動時間
各階の高さ（実測）
- ・ 校外：避難経路（幅や距離）
通行上の注意点）
避難場所までの移動時間（集団）
経路上の危険箇所
避難場所での危険箇所 etc

- ・ 検証結果の発表会に、地域会議議長、センター所長、市防災担当者など地域会議の中核を担うメンバーに参加してもらい情報共有を行った。



令和3年度 参考

今後の津波避難訓練に関する協議

- ・ 第6回会議の訓練振返りを踏まえて、第7回会議（12月24日）では各団体から訓練内容への意見や今後の継続について諮る場が設けられた。
- ・ 年末の時期、コロナ感染の影響などから学校関係者、民生児童委員などの欠席があり、実際の協議、決定は次回以降に持ち越しとなった。



この後、7回目会議以降の1月、2月の会議はコロナ感染症の拡大により中止となった。2月の会議に代わる書面決議によって右記の通り、**次年度以降の訓練継続が決定**された。

センター会議書面決議

- 1 津波避難訓練の継続について
引き続き年に1回程度の津波避難訓練を継続していく。
- 2 実施時期について
9月の防災週間での実施
- 3 今後の推進体制について
センター会議では種々の地域課題を取り上げる必要もあり、今年度をもって津波避難訓練に関しては終了したい。今後は、地域会議の案件として実施していく。



センター会議決議によりセンター会議案件から地域会議の案件となったことで地域会議の議長、センター事務局のもとで毎年度、訓練企画案を検討し、訓練を実施していくこととなった。



→訓練行事の定着化がなされた。

令和3年度 参考

事務局提示の令和4年度訓練の工程案

今後の取組み予定

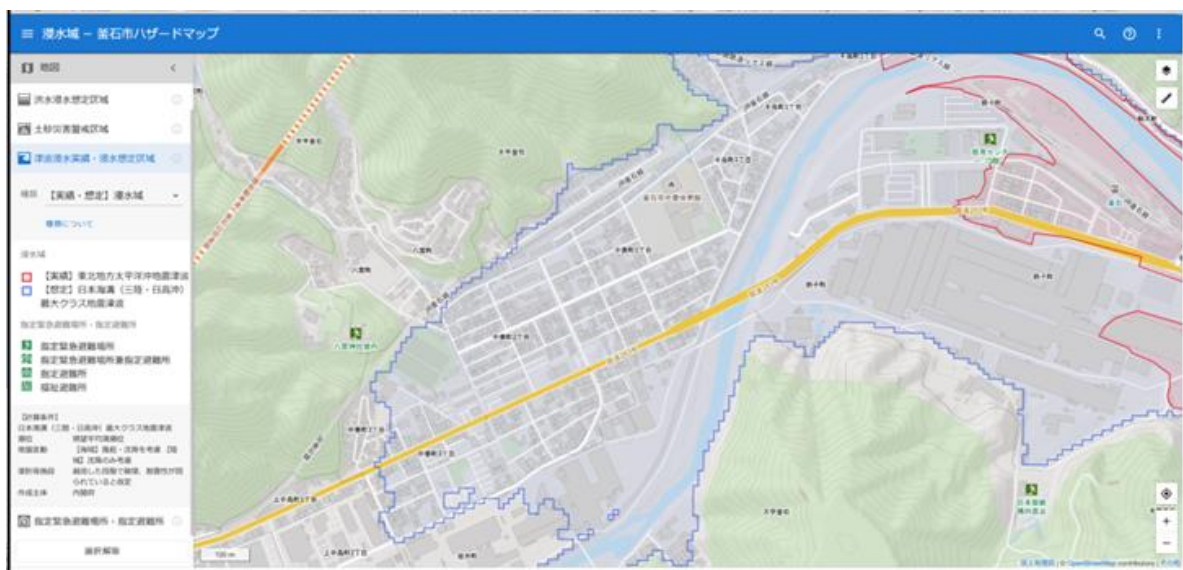
月	取組む内容	役割等
3月	次年度行程表（案）の提案・協議	応援センター・社協SC
4月	関係機関 あいさつ回り	応援センター・社協SC
5月		
6月	地域会議 津波防災訓練実施に向けて 開催概要の検討（実施日時、周知範囲など）	
7月	周知活動、関係機関・団体への参加協力依頼	応援センター・社協SC
8月	周知活動、関係機関・団体の参加予定の取りまとめ 防災訓練の役割分担の確認	応援センター・社協SC
9月	（第1週・防災週間）中妻地区津波防災訓練	地域会議・関係機関
10月	津波防災訓練 振り返り	
11月		
12月	地域会議（津波防災訓練振り返り・次年度に向けて）	地域会議・応援センター
1月		
2月		
3月		

生活応援センター・社協SCによる行程表案

※シェイクアウト等の訓練参加時の注意事項も周知

R4 新たな取り組み

岩手県による津波新想定への周知と対象自治会・団体の拡大

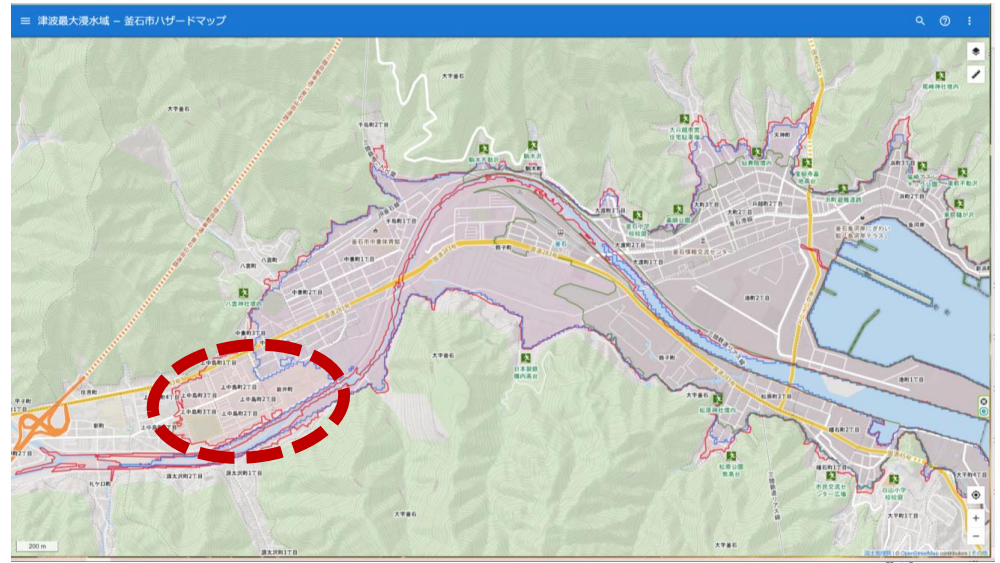


- 千鳥町内会
- 中妻町北町内会
- 中妻町内会
- 中妻1丁目東町内会

- 八雲地区親交会
- 中妻皆輪町内会
- 中妻さざなみ町内会
- 上中島Ⅰ・Ⅱ期復興住宅



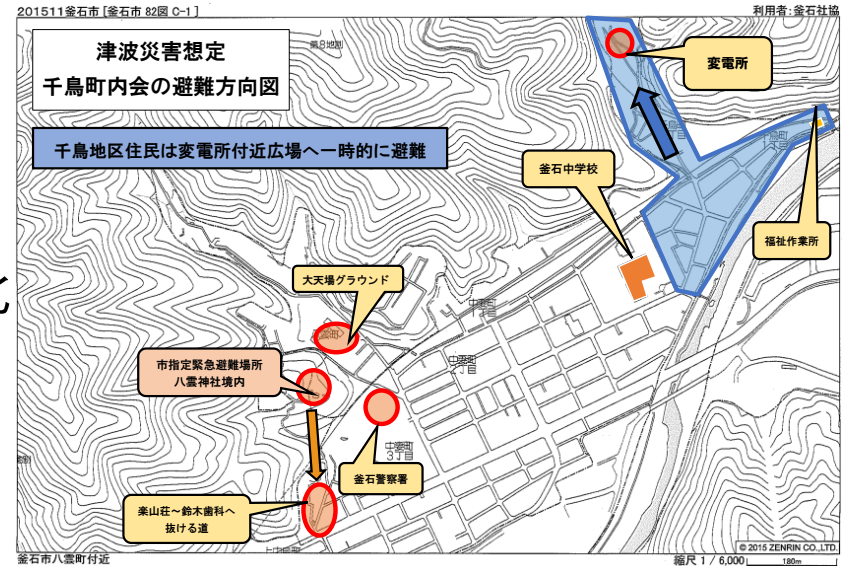
- 上中島こども園
- 双葉小学校
- 上中島児童館
- 神愛幼児学園



R4 新たな取り組み

最寄り避難場所の検討

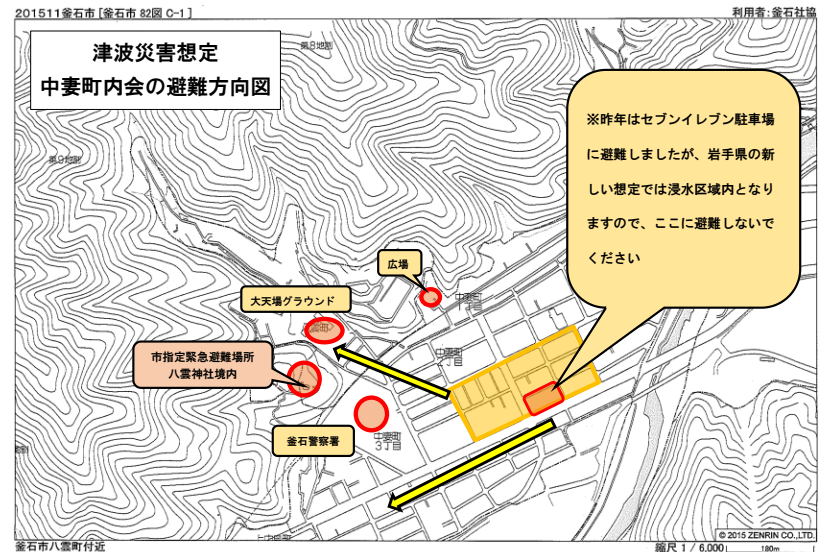
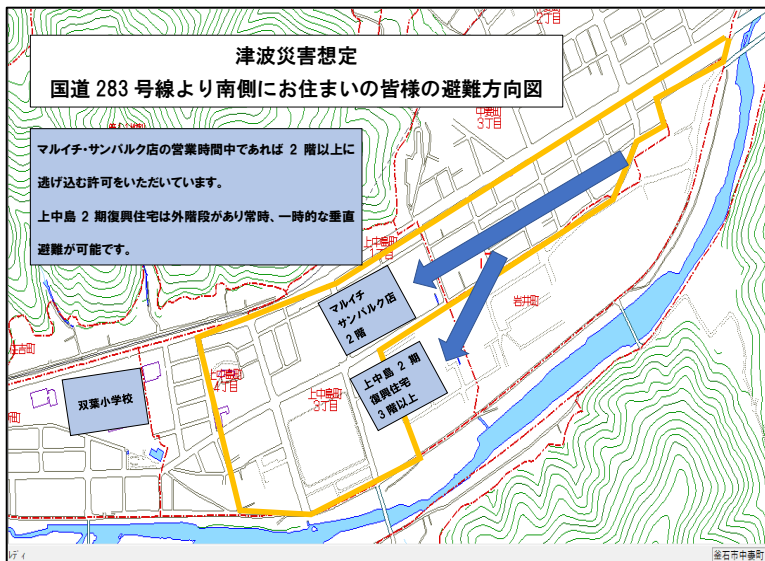
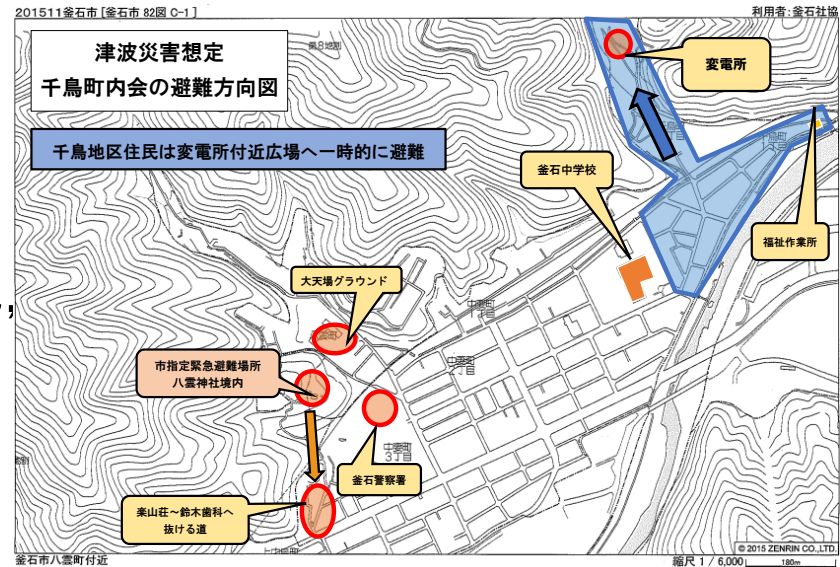
- 各地区の自治会長等から訓練での避難場所の設定が「八雲神社」だけでは、距離が遠くて現実的ではないとの意見があり、国道283号線の南北地区の東西など、それぞれの位置に合わせて避難場所適地の検討、一部は現地踏査を行い、複数設定した。



R4 新たな取り組み

最寄り避難場所の検討

- 各地区の自治会長等から訓練での避難場所の設定が「八雲神社」だけでは、距離が遠くて現実的ではないとの意見があり、国道283号線の南北地区の東西など、それぞれの位置に合わせて、避難場所適地の検討、一部は現地踏査を行い、複数設定した。



R4 新たな取り組み

最寄り避難場所の検討

- 各地区の自治会長等から訓練での避難場所の設定が「八雲神社」付近だけでは、距離が遠くて現実的ではないとの意見があり、国道283号線の南北、地区の東西など、それぞれの位置に合わせて避難場所適地の検討、一部は現地踏査を行い、複数設定した。

- ・ 八雲神社
- ・ 大天場公園・運動広場
- ・ 八雲踏切
- ・ 上中島復興住宅Ⅰ・Ⅱ
- ・ **釜石共栄**
- ・ **双葉小学校**
- ・ **日高寺**
- ・ **変電所付近広場**



R4取組み（参考）

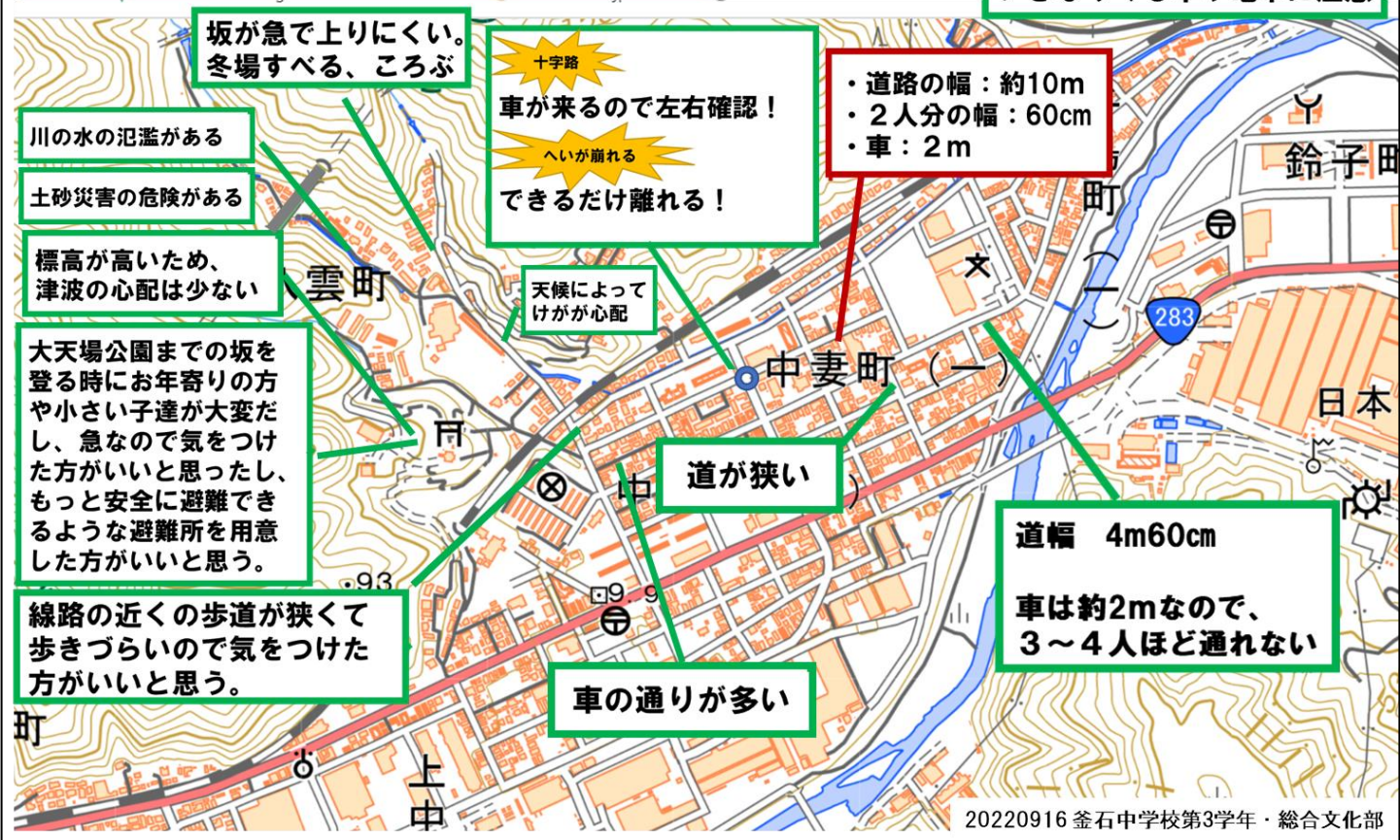
中学校の部活動で避難経路の危険評価をしてセンター会議役員に報告

令和3年度 釜石中学校津波避難訓練レビュー報告

この防災教育を通して避難場所への道には、すごくきけんな所があると知りました。細い道路や車が多い道など、急な坂がたくさんありました。

釜石中に津波が来るまで
およそ15~20分と考えられている

線路、十字路など
いきなりくる車や電車に注意



R4訓練実施の周知

中妻地区センター会議および広報を配布して地区住民および関係団体のほか、地区内の事業所にも周知した。



な か づ ま

中妻地区生活応援センターだより/中妻公民館だより 令和4年9月号

【編集・発行】中妻地区生活応援センター 【発行責任者】所長(公民館長) 菊池 拓朗
 【住所】〒026-0041 釜石市上中島町2丁目6番36号 【電話】0193-23-5541 23-5543

津波避難訓練への参加をお願いします!!

令和4年3月29日に岩手県が公表した県独自の津波浸水想定では、中妻地区の浸水想定区域は、国(内閣府)想定で示されていたものから、さらに範囲が広がっています。このことから、より一層津波に対する防災意識を高めていく必要があるため、昨年度に引き続き、今年度も地域での津波避難訓練を実施します。訓練への参加をお願いします。

1 津波避難訓練の概要

- 日時: **令和4年9月29日(木) 14:40~15:25 (荒天の場合中止)**
- 対象地区: 中妻地区地域会議を構成する地区
- 想定: 日本海溝沿いでマグニチュード9.1の地震が発生。釜石では震度6弱の揺れを観測。地震発生から3分後に気象庁から大津波警報が発表された。≪津波到達予想時間を地震発生から30分後と想定≫
- 訓練内容: 防災行政無線の訓練実施アナウンスにより次の行動等を行うもの。
 - その時いる場所で大きな地震が発生したと想定してシェイクアウト訓練(※)をする。
 - 近くの津波災害緊急避難場所や高台など、危険を回避できる場所への避難訓練をする。
 - 避難開始までの手順や緊急持ち出し物品などの確認をする。

※シェイクアウト訓練とは…「命を守る3動作」

(1) 姿勢を低くする



ますぐく

(2) 頭・体を守る



開を守り

(3) 揺れが収まるまでじっとしている を行う訓練のこと



動かさない

2 訓練参加協力をお願い

当地域では、津波による浸水が想定される区域と想定されない区域がありますので、次の表を参考に訓練への参加協力をお願いします。

	浸水が想定される区域	浸水が想定されない区域
訓練の内容	上記1の訓練内容①、②、③	上記1の訓練内容①、③

※ 浸水想定区域については、添付の図面をご確認ください。

※ 津波避難訓練では、市が指定する八雲神社境内だけでなく、津波から自分の命を守ることができる高台に避難することが基本となります。八雲神社よりも西にお住まいの方は、近所の高台のほか、高層階の建物への避難など、より安全かつ速やかに避難できる場所へ避難しましょう。

3 参考

●津波災害の緊急避難場所

緊急避難場所	対象地域
八雲神社境内	中妻町、千鳥町、八雲町





R4訓練の実施結果

9/29 津波避難訓練 避難者数（確定値）

避難場所	人数（人）	団体名	概要1	概要2
八雲神社・大天場公園・大天場運動広場（※八雲神社近辺）	83	双葉小学校	児童76、職員7	八雲神社
	346	釜石中学校	生徒321、職員25	大天場運動広場→大天場公園
	36	中妻子供の家保育園	子ども29、職員7	八雲神社→大天場公園
	14	虹の家	子ども7、職員7	大天場運動広場
	0	すくすく親子教室	子ども5、保護者2、職員11	室内でのシェイクアウト訓練のみ実施
	8	ニチヶアセンター釜石	職員6、利用者2	大天場運動広場
	0	スクー釜石	テイルームで待機	
小計（a）	506			
小計（b）	97	町内会等	当日参加の方々	要支援者8人含む
合計1	603	小計(a)+小計(b)		

避難場所	人数（人）	団体名	概要1	概要2
八雲踏切付近広場	10	中妻町北町内会		
合計2	10			

避難場所	人数（人）	団体名	概要1	概要2
変電所付近広場	20	千鳥町町内会		
	4	釜石市福祉作業所	職員1、利用者3、車避難	
合計3	24			

避難場所	人数（人）	団体名	概要1	概要2
釜石共栄（カハ）2階	18	中妻さざなみ町内会		
	9	中妻南地区防犯会		
合計4	27			

避難場所	人数（人）	団体名	概要1	概要2
上中島復興公営住宅（Ⅰ期、Ⅱ期）	11	上中島Ⅰ期復興公営住宅自治会		Ⅰ期復興公営住宅3階
	18	上中島こども園	子ども14(5歳児)、職員4	Ⅰ期復興公営住宅3階
	36	上中島Ⅱ期復興公営住宅自治会		Ⅱ期復興公営住宅3階
	23	双葉小学校	児童21、職員2	Ⅱ期復興公営住宅3階
合計5	88			

避難場所	人数（人）	団体名	概要1	概要2
双葉小学校、日高寺	42	双葉小学校	双葉小：児童33、職員3 日高寺：児童5、職員1	
双葉小学校	3	上中島児童館	職員のみ（利用児童20名は双葉小学校でカウント）	
	53	神愛幼児学園	子ども43、職員10	
合計6	98			

訓練参加者計（合計1～6）： 850

＜問い合わせのあったマスコミ＞
朝日新聞（ヒガシノ、フジイ）、読売新聞（キクチ、ミシナ）、毎日新聞（オクダ）、岩手日報（エンドウ、カトウ）、河北新報（タヤナギ）、IBC（木下）、TVI（ヤナギタ）、めんこい（ホソダ）、釜石新聞ニュース（ウラヤマ）



地域住民・学校・保育所・事業所、介護施設などから

合計850名が参加

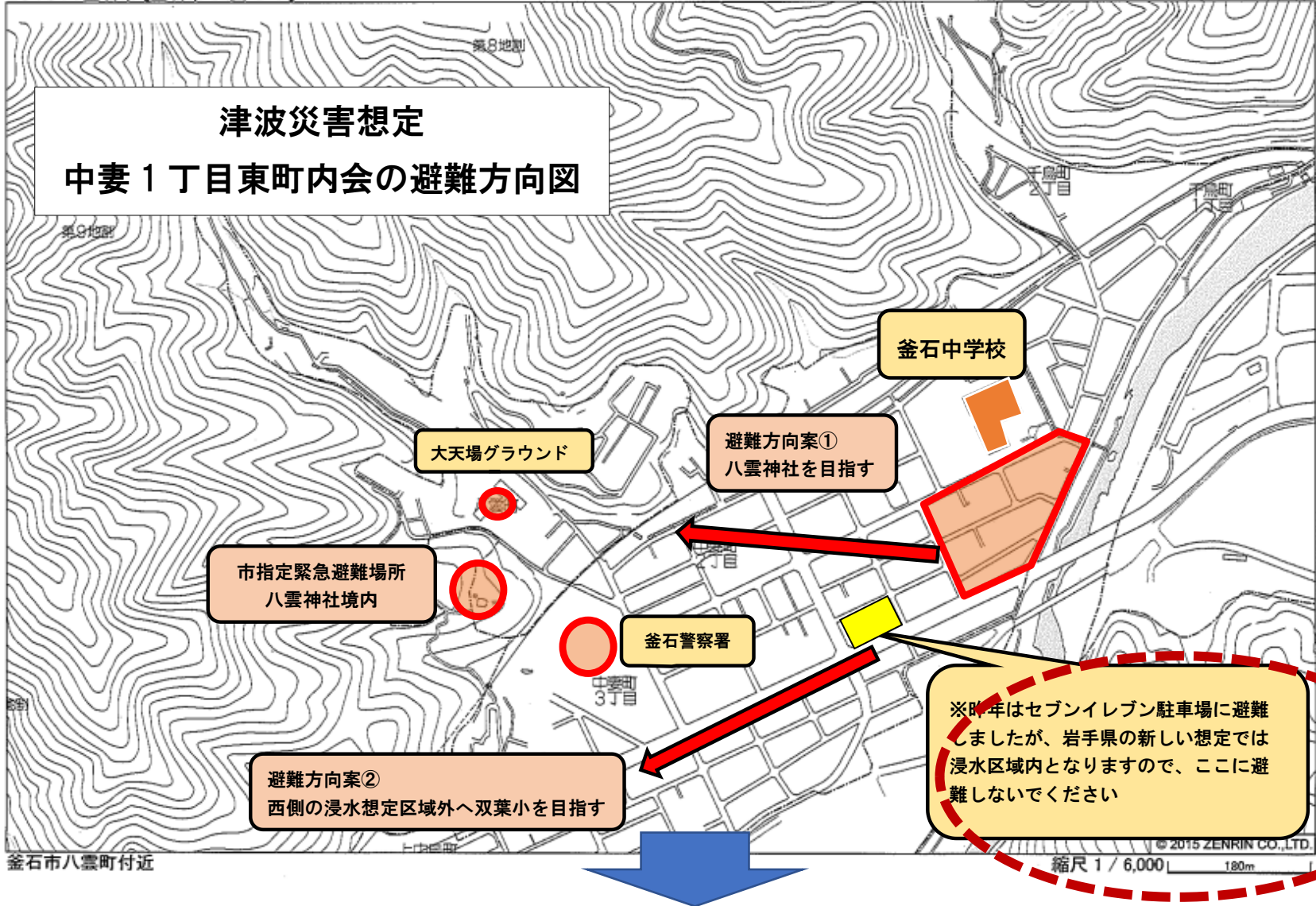
避難の時間についても、いずれの箇所も津波の到達想定時間（30分）を超えない時間で避難行動を完了していた。



24時間の利用ができないためサンパルク（釜石共栄）の2階以上は避難場所候補から除外

201511釜石市【釜石市 82図 C-1】

利用者:釜石社協



今年度の訓練でもセブンイレブンに集合してから避難しようとする住民がいたため、浸水域である旨を説明して避難行動を促した。

R4訓練後の振り返り・意見交換

- ・ 平日日中の訓練を実施しているが、休日や夜間など、時間設定を変えた訓練も必要ではないか。
- ・ 変電所、八雲神社の一部などくらいところは夜間だと照明がないと危険だと感じた。
- ・ 介護事業所や福祉作業所など、サポートが必要な避難者と車両との対向の際には注意が必要。
- ・ 一部の小学生が、避難場所の指示だけだったためか、サイレンが鳴った後に、避難場所を目指して浸水域の方向へ向かう行動をしていた。

R4コアメンバーでの今後の課題

次年度計画の打ち合わせ

- ・津波避難ビルの指定について
地区で検討を進めていたが、構造物強度の問題から市での指定は難しい事情があり地区としては引き続き、早めの避難を促す方針で対応していく。
- ・災害時要配慮者，避難行動要支援者の把握について
民生児童委員レベルで把握されているが，地区全体での特定，共有化には至っていない。個別避難計画の話題が挙がった際に班別での特定，マップづくりを検討したが，マンパワー，担い手が見当たらず，先送りになっている。民生児童委員も欠員が増えてきている。
- ・避難訓練のテーマ設定について
平日には住民は勤務等で地域を離れる人が多く，小中学生，園児，要配慮者が多い特徴がある。休日，夜間は住民が主体となるため，時間設定を変えた訓練などの検討が必要か。
- ・徒歩避難を推奨しているが，車両での避難が必要な世帯，事業所等の把握なども今後必要になる。
- ・自主防災活動をセンター会議，社協SCの支援で行っており，単体で自治会活動，自主防活動を支えられない地区もあり，今後，広域での活動で補う必要もある。

